

納入仕様書

仕様書No.

R-202893

頁 1/7

発 行

1998年 9月 7日

品 質 保 証 部

承 認

査 閲

作 成

馬渡

佐伯

高柳

品 名 : BSシリーズ、DIPスイッチ

型 名 : BS□-SE (OFFマーク表示)
テープシールタイプ

ビーアイ・テクノロジージャパン株式会社
東京都江東区東陽7-1-10 カクマルビル
TEL:(03)3615-1811 FAX:(03)3647-2443

	・			・	
	・			・	
	・			・	
	・			・	
	・			・	
No.	年 月 日	作成履歴	No.	年 月 日	作成履歴

1. 定格

項 目	定 格	
極数	8、6、5、4、3、2	
接触抵抗	初期値	20mΩ max
	寿命試験後	80mΩ max
定格電流、電圧 (抵抗負荷)	スイッチングモード	100mA以下 at 5VDC
	ノンスイッチングモード	100mA以下 at 50VDC
絶縁抵抗	10000MΩ以上 at 100VDC	
耐電圧	500VACにて1分間	
接点間容量	5PF以下	
つまみ動作力	50g ～ 600g	
最小接点電流値	100μA (10μAでも動作可)	

2. 環境性能 (以下の条件に於いて定格を満足する。)

項 目	条 件
保存温度範囲	0℃～+40℃ (テープシール付き状態にての保存)
使用温度範囲	−40℃～+85℃
耐湿性	湿度95%Rh、温度40℃にて96時間放置
振動試験	MIL-STD-202F-204D 試験条件D 20Gピーク加速度、10Hz～2000Hz
衝撃試験	MIL-STD-202F-213B 試験条件I ピーク値100G
はんだ付け性	MIL-STD-202F-208E 245℃±5℃ 5秒間
はんだ耐熱性	MIL-STD-202F-210A 350℃±10℃ 3+1/2秒 260℃±5℃ 10±1秒
電氣的寿命	2000回以上

3. 表示項目

モデル名	BS8, BS6, BS5, BS4, BS3, BS2
メーカー名	商標マーク BI
極番表示	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
ON, OFF表示	OFFのみ表示、OFF位置は白色●表示

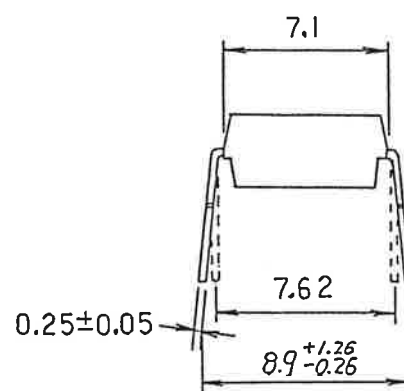
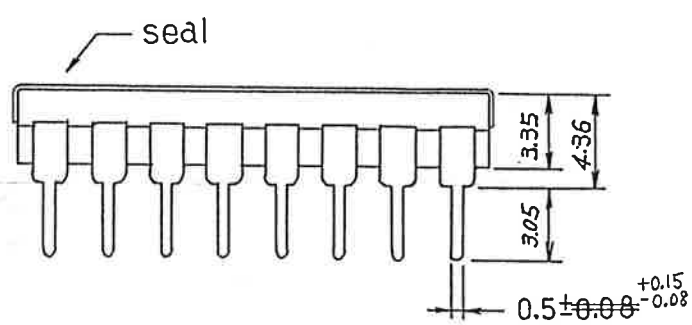
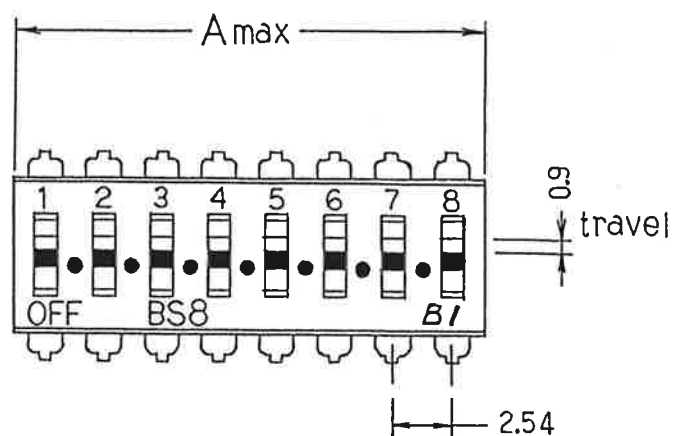
4. 材質

名 称	材 質	UL	処 理
本体	PPS 30%ガラス入り	94V0	色:ブラック
カバー	PPS 30%ガラス入り	94V0	色:ブラック
リードフレーム	黄銅	—	ニッケル上金メッキ
スライド部分	ベリリウム銅	—	ニッケル上金メッキ
スライドつまみ	6/6ナイロン 15%ガラス入り	94V0	
テープシール	ポリエステル		

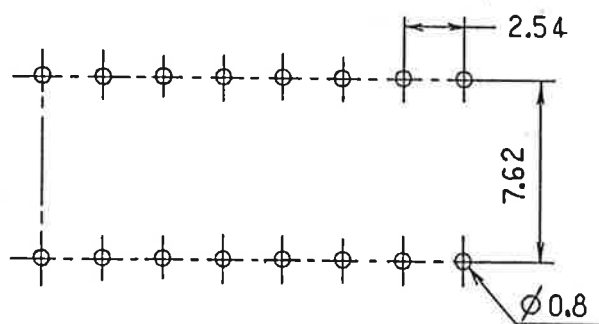
5. モデル名とバリエーション

極数	モデル名	シール	本体長さ A(max)mm	外形図参照	マーキング
2極	BS2-SE	有	5.2 (5.4 :テープ厚含む)		表示無し
3極	BS3-SE	有	7.64 (7.84 :テープ厚含む)		BS3
4極	BS4-SE	有	10.3 (10.5 :テープ厚含む)		BS4
5極	BS5-SE	有	12.72 (12.92 :テープ厚含む)		BS5
6極	BS6-SE	有	15.26 (15.46 :テープ厚含む)		BS6
8極	BS8-SE	有	20.36 (20.56 :テープ厚含む)		BS8

6. 外形寸法図 単位:mm

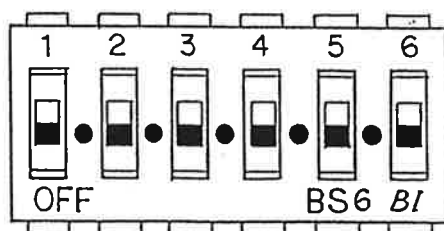


取り付け穴寸法

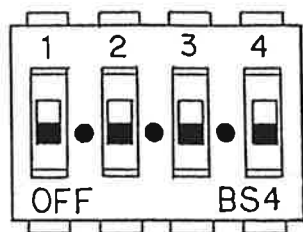


7. 外観表示 (8極は外形寸法図に示す。)

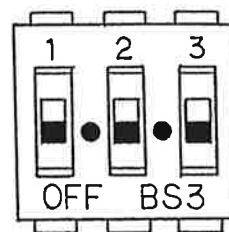
6極



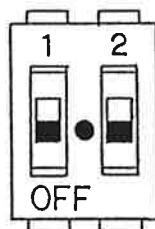
4極



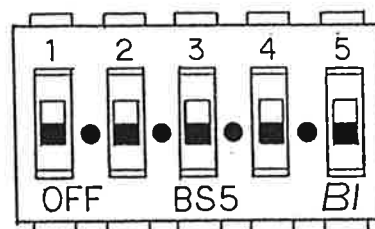
3極



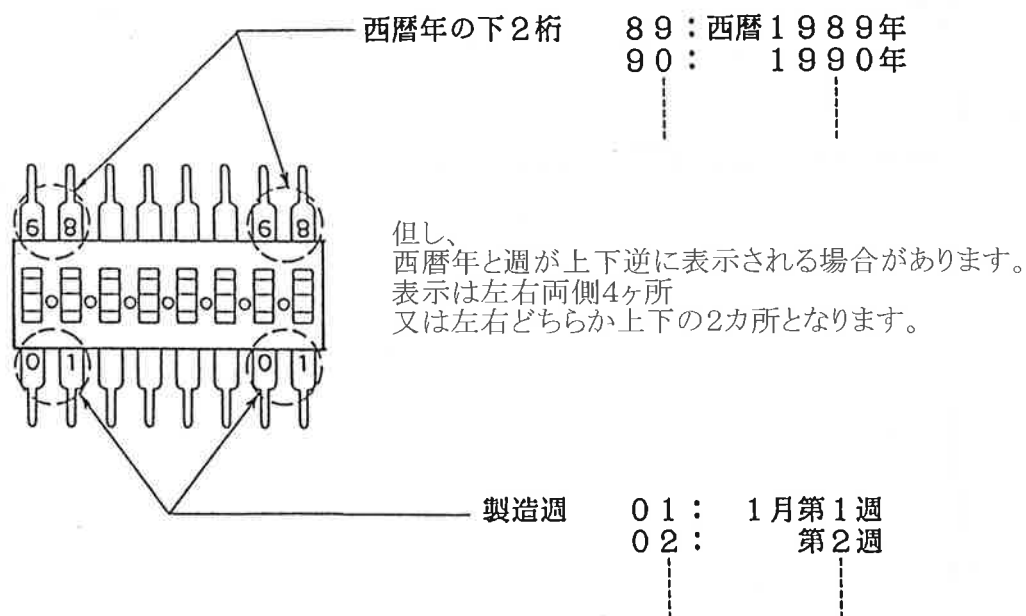
2極



5極



8. 製造年週表示 略号により下図のように表示します。



9. その他

①出荷形態及び使用時のご注意

スイッチはOFF状態にて、下表数量にてマガジンに入って出荷されます。

半田付け、洗浄、乾燥工程まではOFF状態を保持して下さい。

テープシールは乾燥後ユニットが十分室温に戻るまでは触れないようにし、室温に戻ってから剥がして下さい。

(マガジン梱包数)

型名	BS2	BS3	BS4	BS5	BS6	BS8
個数	100	65	50	40	33	25

②2.54mmピッチで連結実装する場合のご注意

テープシール付きの場合、テープ厚が両サイドに加味されますので全副が大きくなり連結での実装は不可です。

③保管上のご注意

常温常湿にて直射日光のあたらない場所に保管下さい。

④安全上のご注意

本仕様書は製品単体での品質を規定するものです。ご使用に際しては、製品を実装された状態で必ず評価し、安全性を確認して下さい。

弊社は品質、信頼性の向上に努めていますが、万一弊社製品の故障により結果として人身事故・火災事故・社会的な損害等を生じさせない冗長設計・延焼対策設計・誤動作防止設計等の安全設計に十分注意願います。

なお、記載にない事項について疑問がございましたら、営業窓口までご相談頂きます様お願いいたします。

10. 改訂履歴

変更期日	変更内容	変更理由
1989/8	MIL規格名変更 MIL-202E→MIL-202F	規格バージョンアップ
1989/8	型式名を社内登録型式と統一(末尾にEを付ける) BS□-S → BS□-SE	発注業務スムーズ化
1990/12	BS4(4極モデル)外形幅A寸法 10.18→10.30	4極モデル専用ラインに伴い 金型作成
1991/9	BS2(2極モデル)外形幅A寸法 5.1→5.2	歩留まりアップ
1993/10	リード端子幅寸法公差 $0.5 \pm 0.08 \rightarrow 0.5 + 0.15 / - 0.08$	プレス後実際の公差分布
1993/12	本体PPS材ガラス含有量 40%→30%	カバー材料との統一
1998/9	環境性能から浸せき試験項目削除	試験目的が不向き